



野球部夏の大会開幕

芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

294号
令和元年
～7月～

野球部の初戦となる1回戦が7月13日(土)三回きんさいスタジアムで行われることになりました。対戦相手は呉工業高校。奇しくも春季広島県大会1回戦と同じ組み合わせです。春のリベンジの一戦となりました。結果については次号で紹介します。

部長	曾利 亮太	10	高橋 成也	壺 真也	輔 平也
監督	平井 裕	11	光永 悠	哲 潤也	之 輔
		12	片桐 大下	隅 上	迫 唯
1	力石 海	13	山田 隅岡	上 迫	木 唯
2	榎田 隼斗	14	上 迫	佐 々木	陸 唯
3	迫田 真尋	15	佐 々木	竹 内	陸 龍
4	岩崎 佑亮	16	竹 内	高橋 龍	雅 希
5	今田 幸汰	17	高橋 龍	岡崎 梨	香
6	柏木 太陽	18	岡崎 梨		
7	小川 那紀沙	19			
8	森 凌輔	20			
9	井上 信	記			

激励文

今年も高校野球の季節がやってきました。今年は今和初めての全国高校野球大会ということ、新たな歴史を作る節目の年となります。さて、近年県内外から生徒が集まってきています。その中でも**全校生徒の約3分の1**が野球部に所属しており、学校中心として、学校行事や日々の生活に励んでいます。毎日の厳しい練習に前向きに取り組む姿や、何事にも全力で取り組む姿、精神的に強くなっていく姿を毎日見ることができます。私たち野球部のスローガンは『**超プラス思考**』です。そんな**野球部員のおかげで全校生徒が何事もプラスに考え頑張ろう**と思うことができます。

今まで**芸分野球**を築き上げてくださった先輩方や先生方、保護者の方々、地域の方々に感謝し、スタンドとグラウンドが一丸となって今年の夏を戦い抜きます。一人一人が甲子園という目標に向かって、『**芸分魂**』を胸に、**光り輝く舞台へ行って見せます。芸北分校に幸あれ。**

硬式野球部 マネージャー2年 上前 梨香

全国から入学できます！ 女子下宿、男子寮完備。町より月一万円円の補助制度あり。**見学随時可能。**
(電話)〇八二六・三五・〇七二六

進路講演会・学部学科ガイダンス



3年生は進路に向けてラストスパート1・2年生は科目選択や進路選択に向けての取組を加速させています。そうした中、6月3日には、講師として(株)さんぽうの高橋龍彦様をお招きして、社会から求められる人物像などについて、講演を聞くことで学校生活の新たなモチベーションを得ることができました。また、6月12日には浜田市において行われた

3年生は進路に向けてラストスパート1・2年生は科目選択や進路選

学部・学科ガイダンスに参加しました。場所が変わると緊張感も増し、真剣さが伝わってきました。



中高合同防犯教室

6月25日(火) 山県警察署 中野駐在所 巡査部長黒郷清隆様をお招きして中高合同防犯教室を実施しました。

講演では、スマートフォン依存の問題や、個人情報の流失の問題について、薬物防止については、覚せい剤や大

麻など報道を通して一般的に情報が入手しやすい薬物だけでなく「危険ドラッグ」と呼ばれている新たな薬物が、市民の身近に迫っているという話を聞きました。
お忙しい中ありがとうございました。



救急救命講習会

6月5日(水)に救急救命講習会」を実施しました。生徒は正しい知識と技術を身につけようと真剣に取り組んでいました。お忙しい中、御指導いただきました北広島消防署救急法指導員の皆様ありがとうございました。



広島北特別支援学校合同袋かけ

6月26日(水)は広島北特別支援学校16名の生徒と合同でリンゴの袋かけを行いました。最初は慣れない手つきでしたが、生徒は一つ一つ品質を確認しながら丁寧な作業を行いました。秋の収穫を楽しみにしてください。レタスとクッキー、マフィンのプレゼント交換をしました。感謝



教育次長来校

7月4日(木) 広島県教育

委員会**長谷川信男教育次長**が
来校されました。「果樹」の授
業を参観され、生徒が実習す
る姿を見て数多くの言葉かけ
をしてい

ただいま
した。放

課後は、

芸分名物

「りんご

踊り」全

校生徒に

よる**野球応援**を披露しました。

「君たちの姿を見て感激しま

した」の言葉をいただきました

た。御多用の中、訪問してい

ただきありがとうございます

た。



熱烈歓迎



「感心と感動と感激」

先日、通勤途中のラジオから
こんな言葉が聞こえてきまし
た。「最近のカーブは感動しませ
んね。大きなホームランを打つ
たり、150キロ以上の球を投
げたり、ファインプレーをする
と感心はするが感動はしない。
技術、テクニクは感心する。
しかし、**感動とは物事をあきら
めない一生懸命さとか皆が積み
重ねてきた力を発揮し、それが
相手に伝わることではないでし
ょうか。そして、その感動が最
大限に達したところで**感激する
のでしよう。そんな時、鳥肌が
立つのです。」****

高校野球は今年、101回目
の夏を迎えます。勝った負けた
はあくまで結果ですが、最後ま
で諦めず、老若男女が感動、感
激する熱い夏を期待します。

今月の教訓

「鍛錬千日 勝負一瞬」

65回大会出場 太公望球児